

## 突撃インタビュー

### ～青森県発 農業活性化アイドルを全国へ～

青森県発農業活性化アイドル「RINGOMUSUME」。

今回は、無謀にもこの RINGOMUSUME の育ての親、樋川新一さんにインタビューするミッションです。人生初のインタビューで樋川さんの熱い思いをどこまで皆様にお伝えできるか全く自信はありませんが、樋川さんや RINGOMUSUME たちの活動などを少しでも知って応援頂ければ幸いです。（「RINGOMUSUME」や「ライスボール」のミュージックビデオが YouTube で配信されていますのでぜひご覧ください。）

リンゴミュージックを立ち上げた動機は何ですか。

樋川) 高校卒業後、首都圏の大学に進学、就職しました。8年後、U ターンで故郷の弘前に戻ってきた時に、若い人が減って、子供の頃とても賑わっていた土手町（弘前の商店街）も淋しくなっていることに愕然としたんです。「自分も楽しみながら地元を元気にしたい。地域がワクワクするような行動を起こしたい。」という強い思いがこみ上げ、何かないかと考えたとき、テレビに映るアイドルグループの歌やダンスを、小さな子供から年配の方々、たくさんの人たちが一緒にになって楽しんでいるのを見て「これだ」と思いました。それで地元弘前、津軽、青森県のみんながワクワクできるようなエンターテイメントとして有志4名で弘前アクターズスクール（後の「リンゴミュージック」）を立ち上げました。

なぜ「RINGOMUSUME」なのでしょうか。



インタビューに答える  
樋川さん

樋川) 青森県は、「一次産業の宝の山」です。自然も豊富で四季もはっきりしています。このような青森県において、県外の方に「青森県」を一番イメージできるのが「リンゴ」でした。また、



左から、ジョナゴールド、とき、王林、彩香

彼女たちの活躍によりリンゴのイメージアップにつながり、リンゴ農家が元気になる。その結果、地域に笑顔が広がる。楽しいことをやりながら皆が元気になるような活動をしたくて「リンゴ娘」(現在の「RINGOMUSUME」)と名付けました。「ただ、アイドルを売り出す」だけではなく、「地域の人たちがこのアイドルたちと共に楽しくなる」ことを重視しています。

また、彼女たちが活動することによっ

て、地域の方々には「青森には夢がある」と思ってほしいし、他地域の方々には「青森を知つてもらう」ことを考えています。

「農業活性化アイドル」として展開していましたが、青森県は農業だけではなく、漁業や林業も盛んなので、現在は、第1次産業すべてを応援するため「第一次産業活性化アイドル」として展開しています。また、全国の「お米農家さん」を応援する「ライスボール」というグループも結成しました。

東京ではできないようなことを青森県から発信したいと思っています。

さらに農家の方々を応援するようなアイディアはありますか。

樋川) 今年から私と RINGOMUSUME 等が農業参入し、リンゴの「高密植栽培」に取り組んでいます。これは、リンゴの木を高密度で植えることにより農作業の軽減を図る栽培法です。

はじめは、自分たちは農家全体を応援することを理念としていたので、自分たちが芸能を利用してリンゴ生産に参入することはタブーだと思っていた。しかし、農家の方から「樋川さんや RINGOMUSUME 等がリンゴを育てるこによってメディアが注目して、新規就農のきっかけになる」といわれました。

この農園は、地域の協力者を得ながら取り組んでいます。新しいリンゴ栽培のモデル農園として展開しており、行政や民間の方々が興味を持って視察に訪れます。この農園の取り組みを YouTube で配信し、新しいリンゴ栽培の方法として全国の農家の方に興味を持ってもらいたいと思っています。今年は、草刈りロボットを試してみました。来年は、新たな協力者を探して自動散水システムを導入したいと思っています。アイドルが農業していると知ったら、新規就農や U ターンのきっかけになるのではないかと思っています。

もう一点、消費者にダイレクトに農作物を売り、農家の収入を増やす計画も考えています。現在、大手広告代理店からオファーが来ており今度打合せを行うこととしています。うまくいけば、全国で初めての取り組みになります。

### 農家の応援歌 1 ~0 と 1 の世界~

(歌 : RINGOMUSUME)

農業は、「0」から「1」を造る世界。この歌は、食の大切さを伝え、朝早くから仕事をする第1次産業の方々への「応援」と「感謝」を伝える歌です。第1次産業に携わっている人は、雨の日も風の日も朝早くから頑張って働いています。この方々のテンションを上げて1日頑張れるようにという思いで作りました。歌詞は、宮沢賢治さんの「アメニモマケズ」を引用しています。

ミュージックビデオも作成していますので、是非見てください。



高密植栽培状況



0と1の世界が収録されている CD

樋川さんが他にもやりたいと思っていることはありますか

樋川) 首都圏にいるトップクリエーターを青森県に移住させたいと思っています。東京で昼夜逆転の生活を送るより自然豊かな青森県で四季を感じながら、人間らしい生活を送る中で創作活動を行った方が、良い作品ができるのではないか。半農半芸、インターネットの発達した世の中では、青森県でも楽しみながら仕事ができると思っています。現在、2名の方が移住し創作活動をしています。

最後に RINGOMUSUME やライスボール、練習生たちに伝えていることを教えてください。

樋川) 彼女たちには、「大好きなことで誰かの役に立つ人になれ」と言っています。私は、このことが仕事の原理原則と思っています。自分から率先して誰かのため、困っている人のため何かをやる。このことが人から感謝され、好かれることにつながる。そしてそれが次の仕事につながっていく。このことが、本人の財産になると思っています。私は、彼女らが今後、ここを巣立ってどこに行っても必ず役に立つ人になれると思っています。

インタビューにご協力頂きありがとうございました。

### 農家の応援歌2 ～君はモンスター～

(歌：ライスボール)

津軽地方の神社の鳥居には、「鬼」が彫られています。これは、鬼が一晩で水路を造ったという伝説があることに由来しています。鬼は、災いを払ったり子供の成長を見守ってくれる神様として大切に思われています。

水は、農家にとって「命」とも言えるものです。この伝説を歌と地元神社の写真、そしてアニメーションで表現したのが「君はモンスター」です。

この歌は、全国の農家の応援歌として広げていきたいと思っています。また、この歌詞には、「人を外見で判断しない」という思いも込めています。

農家を元気づけるためにも是非ともメジャーな歌にしたいと思っています。



弘前市撫牛子八幡宮の「鬼コ」



「鬼」の文字に「ツノ」が無い